

島の政策研究会 第3回 式次第 “自然エネルギーで電力自給”の島から学ぶ

●日時 2013年2月28日(木) 18:00~20:45

●会場 地球環境パートナーシッププラザ セミナースペース(国連大学ビル1階)

■プログラム

・司会・進行: 星野智子(一社)環境パートナーシップ会議副代表理事)

開会挨拶: 加藤賢三(環境パートナーシップちばアドバイザー)

来賓挨拶: 岩川尚美氏(関東屋久島会会長)

【事例発表】18:05~ 「屋久島の電力事情、離島の再生可能エネルギー活用」

・報告: 杉浦英世(かごしま・島交流の会事務局長、市民キャビネット運営委員)

【講演】18:30~

「島から始めるエネルギー革命 ~再生可能エネルギーの将来展望~」

・講師: 倉阪秀史氏(千葉大学大学院人文社会科学研究科教授)

質疑応答

休憩 19:15~

【グループディスカッション、まとめ】19:30~

「自然エネルギー活用でつくる島の産業、持続可能な地域社会」

【ミニライブ】20:20~ 「屋久島古謡と民話語り」

・唄・語り: えぐさゆうこ氏(唄い手、ナレーター、アナウンサー、声優)、江草啓太氏

■出演者プロフィール

○倉阪 秀史(くらさか ひでふみ)氏

千葉大学大学院人文社会科学研究科教授。環境庁で環境基本法、環境影響評価法などの立案に従事。専門は環境政策論、環境経済論。地域内でエネルギーや食糧需要を賄うことのできる「永続地帯」の概念を提唱し、国内の全市区町村を対象とした「エネルギー永続地帯」の試算を行っている。著書に『地域主導のエネルギー革命』(編著)(本の泉社)など。

○えぐさゆうこ(橋口 裕子)氏

唄い手、ナレーター、アナウンサー、声優。俳協、演劇集団 Office59 所属。元南海放送アナウンサー。在局中から奄美大島のシマ唄に魅せられ、唄の世界へ。都内をはじめ全国各地でライブ活動を行っている。父の生まれ故郷である屋久島の唄を探す旅で幻の名曲「まつばんだ」に出会い、古謡採取の活動が夕刊フジ、サンデー毎日、南日本新聞等で紹介される。

○星野 智子(ほしの ともこ)

一般社団法人環境パートナーシップ会議(EPC)副代表理事。大学卒業後、環境団体に就職。現在、環境省と国連大学の共同事業である地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)の運営に関わっている。Rio+20 地球サミット NGO 連絡会幹事、(特活)アフリカ日本協議会理事、(特活)日本 NPO センター評議員や農業体験学習企画の主幹など、市民活動に多く携わる。

●主催 かごしま・島交流の会、自然エネルギー千葉の会、市民キャビネット農都地域部会

●協力 屋久島電工株式会社、関東屋久島会、屋久島移住ネットワーク・緑の風、エコメッセちば実行委員会、いぬみ郷、環境パートナーシップ会議、ほか



※終了後、21:00 より、交流会を予定しています。

どうぞ、お気軽にご参加ください。

(場所・会費等は別途ご案内します。)